

県産食材を盛り込んだ本格的なフランス菓子を提供

フランス菓子 ニコラ



生まれ育った地元を盛り上げたいという気持ちで創業しました。

創業を検討する際の主要な事柄の1つに「立地条件」がある。「お客さんが多く来てくれそうな場所」と考えたとき、人口の多い地域が人気を集める傾向は否めない。

しかし、県外で修行を積んだ 福本 浩土 さんは、創業の地として地元の国東市を選び、国の創業補助金を活用しながら「フランス菓子 ニコラ」を開店した。

福本さんに、地元への思いを含め、創業の道のりについて話をうかがった。

本格的なフランス菓子を国東から

ニコラでは、大分県産の食材を調べ、それらを活用しながら洋菓子の製造・販売を行っています。

国東のイチゴ、日出の卵、安心院のブランデーなどです。

それらを使って、本格的なフランス菓子を地元国東から発信していきたいと思っています。

現在ご好評いただいているのは、モンブラン、イチゴロールケーキ、マカロンなどです。

複雑に作ろうとせず、「素直においしい」「たべやすい」ケーキを目指しています。



人気のイチゴロールケーキ



代表の 福本 浩土 さん

店舗周辺がドライブコースであることから、お客様は、ドライブ途中にお立ち寄りいただく方が多いです。

女性のお客様は、午前中に喫茶をご利用いただいたり、お昼過ぎにケーキを買いにご来店いただきます。

また、これは開店してから気付いたことですが、地元には工場があるため、男性のお客様が仕事帰りにケーキを買って行ってくださいます。

ゆったりと停めていただける駐車スペースを用意しておりますので、お気軽にお立ち寄りいただければと思います。

お菓子にまつわるイベントを紹介

今後は、あまり知られていない、ケーキ・お菓子にまつわるフランスのイベントを紹介していきたいと思っています。

たとえば、お正月には、「ギャレット・デ・ロワ」というパイのケーキがあります。

ケーキの中に、フェーブという「当たり」が入っており、切り分けてそれがあたって方は、そ

の1年健康に過ごせると言われています。
フランスのおみくじのような風習です。

4月のキリスト教の復活祭には、「パーク」という卵型のチョコレートがあります。卵や鶏は、復活のシンボルです。

クリスマスやバレンタインデーだけでなく、四季折々に洋菓子を楽しんでいただけるこうしたイベントを、日本でも広く紹介していきたいと考えています。

県外在住時から 地元商工会の支援を受けました

創業前は、県外の洋菓子店で20年間勤務していました。

勤務時代から、「いずれは創業」と考えており、生まれ育った国東で平成24年の秋頃から物件を探し始めました。

立地が有利でないことは承知していましたが、家庭の事情もあり、何より地元を盛り上げたいと思っていたため、県外でなく、国東を創業の地を選びました。

資金調達については、まず銀行に相談し、その後、さらに情報を得ようと、国東市商工会に相談しました。

平成25年4月頃から、創業補助金の取得を目指して申請準備に入ったのですが、当時はまだ前職の勤務地である北九州市に在住していました。

商工会には、その頃から申請書作成支援、必要書類に関するアドバイスを継続して受けることができ、大変助かりました。

補助金申請の書類作成は手間がかかるため、やもすれば肝心の開店準備作業がおろそかになってしまいます。

商工会の支援を受けたことで、店舗内の機械の



彩り豊かなケーキ

配置や内装などに注力する時間的余裕も得られました。

おかげさまで、25年8月に創業補助金の採択決定を受け、10月に店をオープンすることができました。

商工会には、創業後も、スタッフの募集の仕方、税金に関する知識など、様々な相談に乗っていただき、有益なアドバイスをいただいています。

これから創業を目指す方へ

私の場合、創業への思いはかねてから持っており、創業時期を平成25年と想定していたところに、幸運にも創業補助金の募集時期が重なったため、補助金を活用することができました。

やる気があり、機が熟している方も、資金が不足していると、十分な設備を整えることができないと思います。

ご自身の貯金、親族・友人の援助、金融機関借入以外に、補助金などの支援施策が活用できるのであれば、前向きにご検討されることをおすすめします。

支援機関に相談し、継続的に情報提供を受けることが、施策活用の第一歩です。

支援機関をうまく活用し、夢を現実にしていただきたいと思います。



チョコレートや焼き菓子も豊富

DATA

店名：フランス菓子 ニコラ
業種：洋菓子製造販売
代表者：福本 浩士
創業：平成25年10月
住所：国東市武蔵町糸原125-1
TEL：0978-68-0828